



100席突破！
180席に拡大！

思わぬスピードで予約が100人を突破(9月24日)！
政府の規制緩和もあって、180席に拡大しました。
(9月26日現在、残り43席)
キャパは400席なので、2席に1名の割合です。
少しは違和感が緩和されたでしょうか？
お客様の熱意に私たちも応えなくては！

4人の
新入団者！
嬉しい！

新入団者突撃インタビュー

- ①出身地 ②弦楽器を始めたきっかけ ③これまでの音楽遍歴
- ④好きな音楽ジャンル・曲 ⑤合奏団の印象 ⑥音楽以外の趣味
- ⑦将来のトライしたい曲 ⑧そのほか

大畑満治 (Cb) さん

紹介が
遅くなりました！

- ①益田市
- ②ジャズでのコントラバスをきちんと鳴らしたいと思ったから、勉強に。
- ③ロックドラム→ロックベース・ギター→ジャズ→祭事の楽師→弦楽
- ④ロック ジャズ
- ⑤未熟な私に冷たい視線がないのが嬉しい
- ⑥ヤフオク
- ⑦クラシックは詳しく無いです…
- ⑧知りたがりなので色々教えて欲しいです。難聴があるので指導者の話している声が聞こえてないです…

齋藤万里絵 (2nd Vn.) さん

- ①雲南市
- ②母が近所のバイオリン教室を見つけてくれたのがきっかけです。
- ③中学:吹奏楽部(コントラバス)→高校:弦楽部(総文祭しまねに参加しました)→大学:オーケストラ
- ④クラシック、洋楽
- ⑤アットホームで皆さんとても楽しんで演奏していらっしゃるのが印象的でした
- ⑥読書、キャンプ(最近始めました)
- ⑦ブリテン シンプル・シンフォニー
- ⑧微力ながら楽しくアンサンブルができればと思っています！

齋藤 愛 (1st Vn.) さん

- ①広島市
- ②広島交響楽団員だった叔母に憧れて7歳より始めました。
- ③エリザベト音学大学 → プラハ芸術アカデミー留学
- ④米津玄師、坂本龍一
- ⑤アットホームで観客と距離の近い合奏団
- ⑥リフォーム、ガーデニング、洋裁、テディベア
- ⑦ヴィヴァルディ作曲「四季」
- ⑧自由人なバイオリニストですが、皆様のお力になれるよう頑張ります。

永田正彰 (2nd Vn.) さん

- ①大阪府吹田市
- ②フィリピン・セブ島のスラム地区で音楽教室を運営していた時に必要だったので。
- ③12歳の時に夜空ノムコウを弾き語る木村拓哉さんに憧れてギターを始める。13歳のとき吹奏楽部でトロンボーンを始め高校でも吹奏楽を続けてマーチングに出会う。
大阪音楽大学器楽学科トロンボーン専攻卒業。フリーランスのトロンボーン奏者として関西で様々な演奏活動を行う傍ら小学校から大学の吹奏楽やマーチングの指導に7年間携わる。音楽教室トロンボーン講師。音楽療法を各施設で行ったり、七色音楽隊という7人のアンサンブルで幼稚園や保育所でコンサートを行う。
2012年から2013年にかけて大学職員として行政(豊中市)とサウンド・スクール事業(市内の幼稚園から中学校に生演奏を届ける事業)の企画運営を担当。
2013年から2019年までフィリピン・セブ島に移住NPO法人の職員として現地のスラム地区に音楽教室を設立して150名の子どもたちが音楽に触れられる環境づくりに携わる。セブ・フィルハーモニックオーケストラ 主席トロンボーン奏者。2018年マニラで開催されたフィリピン最大の音楽祭で指揮者を務めた。2016年から2019年にかけてドイツ、台湾、香港で指揮マスタークラスを受けて研鑽を積む。
2019年10月から様々な音楽企画、オーケストラ運営、音楽教室、国際交流事業、商品開発などを行う COZY MUSIC OFFICE 代表をつとめる。
2020年3月から川本町の地域おこし協力隊に赴任。
- ④民族音楽(アイリッシュ、アジア)、J-pop(全般)
- ⑤真摯に、そして楽しそうに音楽に取り組まれているのが良いですね。
- ⑥博物館で働いていたのもあって古いもの歴史を調べることが好きです。司馬遼太郎さんの本を読んで実際に現地に旅行に行くことが好きです。あとは美味しいものを食べることが好きです。
- ⑦チェコ組曲(ドボルザーク)、弦楽セレナーデ(エルガー)、弦楽合奏の伴奏で管楽器のソロ演奏
- ⑧楽器に関しては知らない事ばかりなので色々教えてください。



「カントリーロード」

Take Me Home, Country Roads 故郷に帰りたい (日本語タイトル)

これが原曲名で、1971年に、作者ジョン・デンバーの歌で世界的にヒットしました。ジョン・デンバーは、1970年代、アメリカの良心を代表するようなシンガーでした。この曲は、寂しくて故郷に帰りたくなくても、やはり旅を続けてしまう...そんな

「旅心」を歌ったのでしょう。彼の最も有名な曲ですが、もっと素敵で美しい曲もたくさんあります。

余談ですが、当時、ジーンズメーカーのテレビCMで、彼の「Sunshine on my shoulder」が流れる中、ジーンズ姿のバックパッカーが「歩くと体が疲れるけど、心が疲れるよりいい」と言う台詞がかっこよかった！

原詞に出てくるブルーリッジの山々、シェナンドー川、ウエストヴァージニアは、本当に美しいところだそうで、今年、密かに渡航を目論んでいましたが、このコロナであえなく頓挫、いつになったら行けるやら…